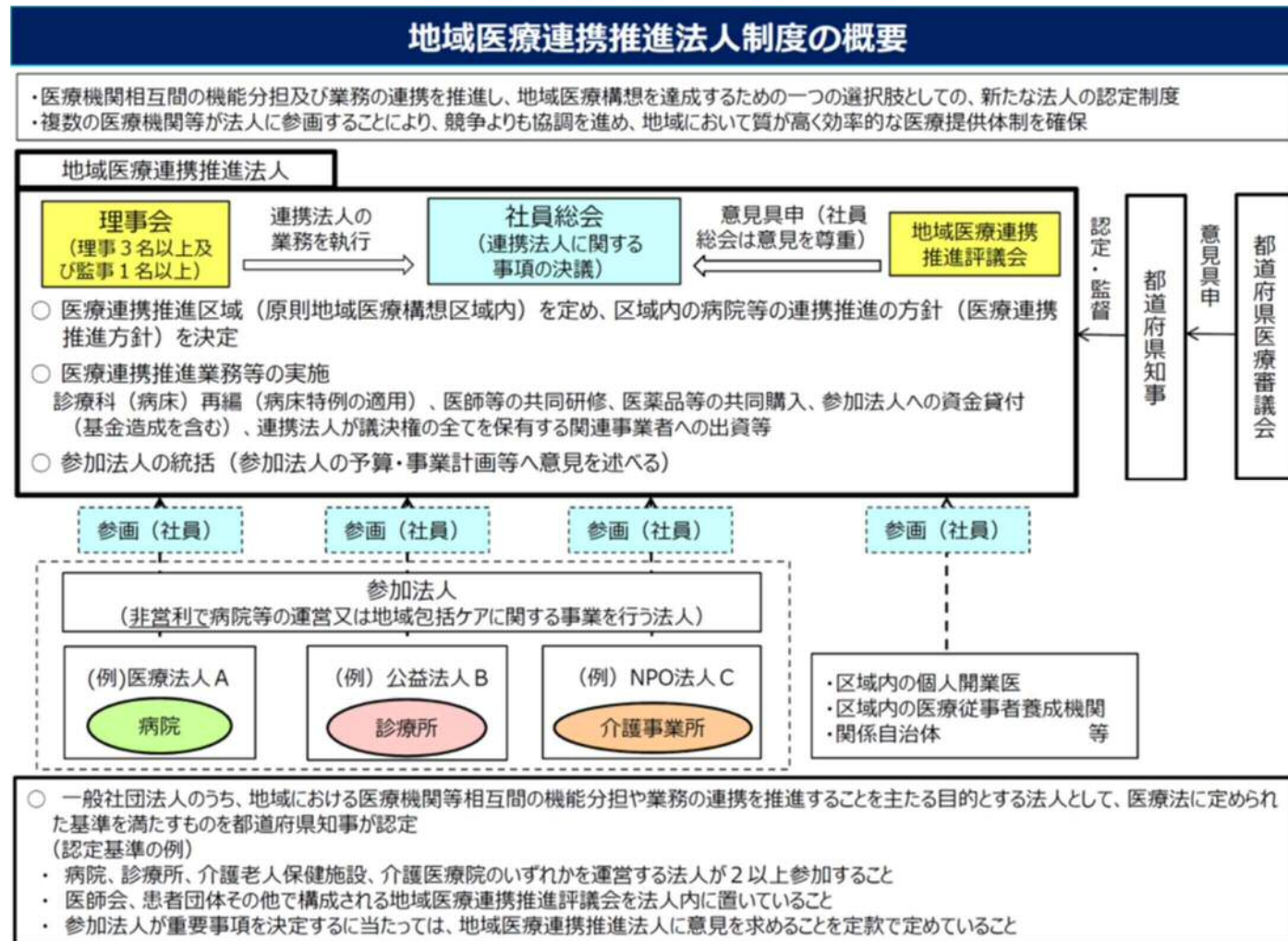


○ 地域医療連携推進法人制度の概要

地域医療連携推進法人とは、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定（医療連携推進認定）する制度
（2017(H29)年4月創設）

平成29年3月29日愛知県医療審議会医療体制部会における地域医療連携推進法人の認定及び代表理事の選定の認可に対する付帯決議文



地域医療連携推進法人が業務を行う医療連携推進区域は、地域医療構想区域と整合的になるよう定めることが原則であり、2以上の構想区域にわたる医療連携推進区域を定める場合にはその理由と必要性について十分精査することが必要であると規定されている。

今回の認定審査対象法人は愛知県下の7つの構想区域に及ぶものであるが、平成29年3月29日の医療体制部会での質疑応答は、この点で各委員の疑念を払拭するに至っていない。

地域医療構想の本来趣旨に基づけば、多数の構想区域にまたがって業務を行おうとする今回の認可審査対象法人の存在は、各構想区域における自主的な取り組みを阻害し、参加法人とそれ以外の機関との無用な競争を助長することが強く懸念される。

愛知県の地域医療構想達成のため、不断の努力を続けている各地域の医療関係者の努力が毀損されることがないように、万全の配慮がなされるべきである。

今回申請された地域医療連携推進法人は、以下の二点を付帯決議事項として認可するものである。

- 1 本法人はその参加法人と業務範囲が多数の構想区域にまたがる地域医療連携推進法人であるため、その法人の事業運営にあたっては、それぞれの構想区域の医療関係者が、地域医療達成に向けて現在すでに行いつつあり、将来行うとしている取り組み内容を十分に理解し尊重すること。
- 2 法人運営がその理念通り適切に運営されている状況について、愛知県医療審議会医療体制部会に、毎年報告すること。

○ 認定状況

愛知県の認定状況 1件（全国 20法人 2020(R2). 10.1 現在）

- ・ 地域医療連携推進法人尾三会（2017(H29). 4. 2 認定）

（主たる事務所所在地：豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98（藤田医科大学病院内））

医療連携推進方針（別紙）

※業務を行う医療連携推進区域が複数の地域医療構想区域（7区域）にわたることから、2017(H29)年3月の医療体制部会において2点の付帯決議事項を附して認可に至った経緯がある。

医療連携推進方針

1. 医療連携推進区域

愛知県名古屋市南区、名古屋市緑区、名古屋市天白区、岡崎市、半田市、豊川市、刈谷市、豊田市、西尾市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、愛知郡東郷町

2. 参加法人、参加病院等

- ・南医療生活協同組合 総合病院南生協病院
- ・医療法人清水会 相生山病院
- ・医療法人なるみ会 第一なるみ病院
- ・医療法人コジマ会 ジャパン藤脳クリニック
- ・医療法人 みどり訪問クリニック
- ・医療法人並木会 並木病院
- ・医療法人愛整会 北斗病院
- ・医療法人鉄友会 宇野病院
- ・医療法人十全会 三嶋内科病院
- ・医療法人木南舎 富田病院
- ・医療法人葵 葵セントラル病院
- ・医療法人宝美会 総合青山病院
- ・医療法人明和会 辻村外科病院
- ・医療法人社団同仁会 一里山・今井病院
- ・公益財団法人 豊田地域医療センター
- ・医療法人贈恩会 小嶋病院
- ・医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック
- ・医療法人 秋田病院
- ・学校法人藤田学園 藤田医科大学病院
- ・社会福祉法人あかいけ寿老会 特別養護老人ホーム寿老苑
- ・医療法人名翔会 老人保健施設和合の里
- ・社会福祉法人東郷福祉会 特別養護老人ホームイースト・ヴィレッジ
- ・社会福祉法人福田会 特別養護老人ホーム豊明苑
- ・医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院
- ・医療法人社団福祉会 高須病院
- ・医療法人秀麗会 山尾病院
- ・医療法人幸寿会 平岩病院
- ・社会福祉法人地域福祉コミュニティほほえみ 地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ
- ・医療法人寿光会 寿光会中央病院
- ・医療法人大医会 日進おりど病院
- ・医療法人大朋会 岡崎共立病院
- ・医療法人メディライフ 半田中央病院
- ・国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

3. 理念・運営方針

(理念)

尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。

(運営方針)

尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じ、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。

- ① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。
- ② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。
- ③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

・グループ内施設の機能の分化について

特定機能病院である藤田医科大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。

・グループ内施設間における医療・介護従事者等の人事交流を実施し、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて人事交流を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。

・医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、藤田医科大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田医科大学包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの研修会や研修業務の企画立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣をすることで、地域全体での医療・介護サービ

スの質の向上に貢献します。

さらに、地域の潜在看護師が自信を持っていきいきと働くための支援として、医療安全を基盤とした看護技術習得を目指した再教育及び就労支援を実施することにより、地域医療に貢献していきます。

- ・グループ内施設間での患者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、高度急性期医療を担う藤田医科大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的に、より効率的に情報システムを利用するための方法等について検討します。

- ・グループ内施設に対して医療事故調査等に関する業務の連携を実施し、安全な地域医療の実現に貢献します。

具体的には、医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田医科大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断(Ai)等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。

- ・医薬品の一括交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、平成29年10月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラリーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。

- ・医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営の効率化の実現に寄与します。

- ・グループ内施設における給食サービスの共同化を実施し、適切な配食と経営の効率化を図ります。

具体的には、藤田医科大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

- ・先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供します。

具体的には、既に豊明市において藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。

- ・「暮らし」を支える在宅診療のシステム化に貢献いたします。

具体的には、前述の藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた24時間365日オンコール体制によるバックアップ、24時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。

- ・介護・医療従事者等の人事交流を通じて、在宅診療等の充実化に貢献いたします。

具体的には、各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への人事交流を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。

- ・グループ内施設間での患者・利用者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。

(記載上の注意事項)

- 「2」については、参加法人、参加病院等及び参加介護施設等の名称を記載すること。
- 「4」については、地域医療構想の達成の観点から参加病院等が実施する機能分担及び業務連携について記載すること。
- 「5」については、医療法第70条の2第4項に基づき、参加病院等及び参加介護施設等の相互間で業務連携を実施する場合に記載すること。

地域医療連携推進法人尾三会の医療連携推進方針に係る取り組みの状況

<p>(理念) 尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。</p> <p>(運営方針) 尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取り組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じ、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。</p> <p>① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。</p> <p>② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。</p> <p>③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。</p>
--

○医療連携推進業務に係る取組の状況（令和2年3月31日現在）

	事項	医療連携推進方針における記載内容	活動状況等
病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標	・ グループ内施設の機能分化	特定機能病院である藤田医科大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。	尾三会施設の診療機能等のデータを使って、救急患者を状態に合った病院へ振り分けるため、 空き病床が確認できる軽症救急モデル を試験的に導入し、 ワーキンググループで意見交換 を行っている。また、尾三会施設の病院概要の一覧表を作成し、システム化、標準化することにより、退院調整の質と効率化を向上させ、将来的に継続且つ横展開可能な、シームレスな医療の提供を目指して、引き続き事業を推進していく。
	・ グループ内施設間における医療・介護従事者等の人事交流を実施し、回復期機能や在宅医療を充実	特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて人事交流を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。	人事交流について藤田医科大学病院と調整し、 特に必要性の高い地域の施設に対し、医師の人事交流を4件行った。看護師の人事交流は8件行った。 その他、 臨床実習について藤田医科大学病院と調整し2件行った。
	・ 医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療を充実	藤田医科大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田医科大学地域包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの研修会や研修業務の企画立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣することで、地域全体での医療・介護サービスの質の向上に貢献します。 さらに、 地域の潜在看護師が自信を持っていきいきと働くための支援として、医療安全を基盤とした看護技術習得を目指した再教育及び就労支援を実施することにより、地域医療に貢献していきます。	藤田医科大学病院で開催された研修会等へ17施設延べ139名の申し込みが有り、参加いただける様に調整をした。尾三会研修会を5回開催し、16施設65名が参加した。その他尾三会共催の研修会に11施設44名の参加があった。 また、参加施設より 講師派遣依頼が16件あり 、藤田医科大学病院の認定看護師、及び言語聴覚士が講師として各施設へ赴き、講演やベッドサイドでの技術指導を行った。 2020年度より看護師の人材紹介事業を開始するため、準備や規約の作成をした。
	・ グループ内施設間での患者情報の共有化モデルの確立	高度急性期医療を担う藤田医科大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的により効率的に情報システムを利用するための方法等について検討します。	インターネットを通じ診療情報を参照するシステムである「 藤田医療情報ネットワーク (ID-Link) 」への登録を全参加施設に促し、申し込みを取りまとめている。尾三会事務局員がシステムの設置・設定を順次行っている。ID-Linkのワーキングへ尾三会として参加し、参加施設の意見を報告しており、 当システムは、2020年2月より、全診療科の診療記録の公開を開始した。 また、参加施設からの電子カルテに関する相談に対し、藤田医科大学病院の情報システム部と連携し対応した。
	・ 医療事故調査等に関する業務の連携	医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田医科大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断 (Ai) 等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。	医療事故に関する24時間365日対応や医療安全および院内感染に関する教育・相談、施設内医療事故調査委員会の設置運営への協力など、医療事故に対する支援体制を整えるため、参加施設は「 藤田あんしんネットワーク 」へ加入していただく。尾三会が窓口となり、 全参加施設が入会を済ませている。 あんしんネットワークの幹事会及び総会へ参加し、参加施設の意見を報告している。 新型コロナウイルス感染が確認された参加施設へ、3月4日から11日までの延べ4日間、患者安全・医療の質管理マネジメントを専門とする医師の派遣を藤田あんしんネットワークへ依頼した。
・ 医薬品の一括交渉を通じたグループ内施設の経営効率化	平成29年10月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。	今年度は 10施設が事業に参加した。 参加施設向けに 報告会を開催 、参加施設に加え、参加を検討している2施設の出席があった。 下半期より藤田薬品株式会社との業務委託契約を解除し、事業の運営について尾三会事務局が行うこととなった。 ジェネリック医薬品についてデータを取りまとめ、購入推奨リストを作成、参加法人へ提案している。	

	事項	医療連携推進方針における記載内容	活動状況等
	・ 医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じたグループ内施設の経営効率化	グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営の効率化の実現に寄与します。	超音波検査機器の販売方式について、メーカーと協業し全く新しいサービスを考案、全参加施設へ案内をした。また、カーリース事業について、今年度は10施設25台の登録があった。 参加施設より、医療機器の借用希望があり、当会より当該機器を多数所有する藤田医科大学病院へ依頼し、貸出した。
	・ グループ内施設における給食サービスの共同化による適切な配食と経営効率化	藤田医科大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。	「適時適温の食事提供システム」を導入した場合のコスト計算結果等を参考に、参加施設への提供実現可能性を引き続き検討している。
介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項	・ 先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供	既に豊明市において藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。	「地域包括ケア中核センター」が運営を担っている、豊明市、東郷町、藤田医科大学の三者により設置された『豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」』を参考に、尾三会の医療連携推進区域において、医療介護専門職種を支援する等の拠点づくりを検討している。
	・ 「暮らし」を支える在宅診療のシステム化	前述の藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた24時間365日オンコール体制によるバックアップ、24時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。	尾三会の医療連携推進区域において、「地域包括ケア中核センター」と同様の施設を設置し、藤田医科大学病院より人材を供給するなどのシステム構築を検討している。
	・ 介護・医療従事者等の人事交流を通じた在宅診療等の充実	各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への人事交流を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。	参加法人の介護施設や在宅診療を担う施設に対し、介護・医療従事者の人事交流する仕組み(システム)を構築中である。
	・ グループ内施設間での患者・利用者情報の電子的な共有モデルの確立	前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。	前述のとおり「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を全参加施設に促し、システムの設置・設定を順次行っている。

地域医療連携推進法人尾三会の医療連携推進方針に係る取り組みの状況及び補足説明

	活動状況等	補足説明
病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標	尾三会施設の診療機能等のデータを使って、救急患者を状態に合った病院へ振り分けるため、 空き病床が確認できる軽症救急モデルを試験的に導入し、ワーキンググループで意見交換を行っている。 また、尾三会施設の病院概要の一覧表を作成し、システム化、標準化することにより、退院調整の質と効率化を向上させ、将来的に継続且つ横展開可能な、シームレスな医療の提供を目指して、引き続き事業を推進していく。	ワーキンググループ参加施設 ・相生山病院 ・小嶋病院 ・藤田医科大学病院
	人事交流について藤田医科大学病院と調整し、 特に必要性の高い地域の施設に対し、医師の人事交流を 4 件行った。看護師の人事交流は 8 件行った。 その他、 臨床実習について藤田医科大学病院と調整し 2 件行った。	医師派遣施設 ・高須病院 ・南生協病院 ・第一なるみ病院 ・葵セントラル病院 人事交流事業参加施設 (在籍出向)・辻村外科病院 ・第一なるみ病院 ・富田病院 ・小嶋病院 ・並木病院 ・日進おりど病院 ・藤田医科大学病院 (臨床実習)・辻村外科病院 ・平岩病院
	藤田医科大学病院で開催された研修会等へ 17 施設延べ 139 名の申し込みが有り、参加いただける様に調整をした。尾三会研修会を 5 回開催し、16 施設 65 名が参加した。その他尾三会共催の研修会に 11 施設 44 名の参加があった。 また、参加施設より 講師派遣依頼が 16 件あり、藤田医科大学病院の認定看護師、及び言語聴覚士が講師として各施設へ赴き、講演やベッドサイドでの技術指導を行った。 2020 年度より看護師の人材紹介事業を開始するため、準備や規約の作成をした。	(別紙①) 研修会参加者及び講師派遣リスト
	インターネットを通じ診療情報を参照するシステムである「 藤田医療情報ネットワーク (ID-Link) 」への登録を全参加施設に促し、申し込みを取りまとめている。尾三会事務局員がシステムの設置・設定を順次行っている。ID-Link のワーキングへ尾三会として参加し、参加施設の意見を報告しており、 当システムは、2020 年 2 月より、全診療科の診療記録の公開を開始した。 また、参加施設からの電子カルテに関する相談に対し、藤田医科大学病院の情報システム部と連携し対応した。	設定済 15 施設 ・ジャパン藤脳クリニック ・北斗病院 ・みどり訪問クリニック ・並木病院 ・富田病院 ・葵セントラル病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院 ・一里山・今井病院 ・山尾病院 ・総合青山病院 ・宇野病院 ・秋田病院 ・相生山病院 ・日進おりど病院
	医療事故に関する 24 時間 365 日対応や医療安全および院内感染に関する教育・相談、施設内医療事故調査委員会の設置運営への協力など、医療事故に対する支援体制を整えるため、参加施設は「 藤田あんしんネットワーク 」へ加入していただく。尾三会が窓口となり、 全参加施設が入会を済ませている。 あんしんネットワークの幹事会及び総会へ参加し、参加施設の意見を報告している。 新型コロナウイルス感染が確認された参加施設へ、3 月 4 日から 11 日までの延べ 4 日間、患者安全・医療の質管理マネジメントを専門とする医師の派遣を藤田あんしんネットワークへ依頼した。	藤田あんしんネットワーク医師派遣施設 ・南生協病院
	今年度は 10 施設が事業に参加した。 参加施設向けに 報告会を開催、 参加施設に加え、参加を検討している 2 施設の出席があった。 下半期より藤田薬品株式会社との業務委託契約を解除し、事業の運営について尾三会事務局が行うこととなった。 ジェネリック医薬品についてデータを取りまとめ、購入推奨リストを作成、参加法人へ提案している。	医薬品事業参加施設 ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・ジャパン藤脳クリニック ・北斗病院 ・三島内科病院 ・葵セントラル病院 ・豊田地域医療センター ・前原整形外科リハビリテーションクリニック ・平岩病院 ・高須病院 上記ほか報告会参加施設 ・寿光会中央病院 ・日進おりど病院
	超音波検査機器の販売方式について、メーカーと協業し全く新しいサービスを考案、全参加施設へ案内をした。また、 カーリース事業について、今年度は 10 施設 25 台の登録があった。 参加施設より、医療機器の借用希望があり、当会より当該機器を多数所有する藤田医科大学病院へ依頼し、貸出した。	カーリース契約施設 ・老人保健施設和合の里 ・富田病院 ・三島内科病院 ・特別養護老人ホーム豊明苑 ・総合青山病院 ・前原整形外科リハビリテーションクリニック ・日進おりど病院 ・特別養護老人ホーム寿老苑 ・地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ ・小嶋病院 医療機器借用施設 ・第一なるみ病院
「適時適温の食事提供システム」を導入した場合の コスト計算結果等を参考に、参加施設への提供実現可能性を引き続き検討している。		
介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項	「地域包括ケア中核センター」が運営を担っている、豊明市、東郷町、藤田医科大学の三者により設置された『豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」』を参考に、 尾三会の医療連携推進区域において、医療介護専門職種を支援する等の拠点づくりを検討している。	
	尾三会の医療連携推進区域において、「地域包括ケア中核センター」と同様の施設を設置し、 藤田医科大学病院より人材を供給するなどシステム構築を検討している。	
	参加法人の介護施設や在宅診療を担う施設に対し、 介護・医療従事者の人事交流する仕組み(システム)を構築中である。	
	前述のとおり「 藤田医療情報ネットワーク (ID-Link) 」への登録を全参加施設に促し、システムの設置・設定を順次行っている。	

平成31年度

研修会参加者

開催日	研修会名	施設名
4月8日	乳腺がんセミナー	1施設 1名
4月10日	第90回 藤田メタボリッククラブ	1施設 1名
4月13日	<共催> 骨粗鬆症による再骨折予防連携会(中外製薬)	4施設 15名
4月23日	第5回 かけはし一歩塾	1施設 2名
4月24日	臨床感染症セミナー2019	1施設 1名
4月24日	【尾三会研修会】組織力向上セミナー	14施設 28名
5月8日	第91回 藤田メタボリッククラブ	2施設 3名
5月13日	乳腺がんセミナー	1施設 1名
5月24日	褥瘡勉強会	2施設 4名
6月10日	乳腺がんセミナー	2施設 3名
6月11日	第6回 かけはし一歩塾	1施設 1名
6月12日	臨床感染症セミナー2019	1施設 1名
6月15日	<共催> 東名古里2025年問題を考える会(第一三共)	4施設 15名
6月19日	第92回 藤田メタボリッククラブ	2施設 3名
6月19日	<共催> 豊明肝臓病セミナー(MSD株式会社)	3施設 3名
6月19日	【尾三会研修会】認知症「おやつトラブル・帰宅欲求」	4施設 10名
6月28日	褥瘡勉強会	3施設 7名
6月28日	がん化学療法サポートセミナー	1施設 2名
7月5日	臨床感染症セミナー2019	3施設 4名
7月8日	乳腺がんセミナー	1施設 2名
7月17日	第93回 藤田メタボリッククラブ	1施設 2名
7月17日	【尾三会研修会】認知症「起床時/排泄の失敗・お迎え拒否」	6施設 15名
7月19日	<共催> 尾三会肝疾患啓発セミナー(アツヴィ合同会社)	4施設 6名
7月23日	第7回 かけはし一歩塾	3施設 3名
8月9日	褥瘡勉強会	2施設 6名
8月25日	第8回 かけはし一歩塾	3施設 11名
8月28日	臨床感染症セミナー2019	3施設 5名
9月9日	乳腺がんセミナー	2施設 3名
9月18日	第94回 藤田メタボリッククラブ	1施設 2名
9月25日	臨床感染症セミナー2019	2施設 3名
9月27日	褥瘡勉強会	2施設 4名
10月9日	臨床感染症セミナー2019	4施設 5名
10月21日	乳腺がんセミナー	1施設 1名
10月23日	臨床感染症セミナー2019	1施設 1名
10月25日	褥瘡勉強会	3施設 6名
11月2日	多職種同職種会合同研修会	5施設 20名
11月21日	<共催> 透析トータルケアセミナー(協和キリン株式会社)	1施設 2名
11月21日	第96回 藤田メタボリッククラブ	1施設 4名
11月21日	【尾三会研修会】認知症「タイプ別症例検討」①	5施設 9名
11月22日	褥瘡勉強会	2施設 5名
11月26日	<共催> 東尾張透析連携セミナー(協和キリン株式会社)	1施設 1名
11月27日	臨床感染症セミナー2019	2施設 5名
12月12日	【尾三会研修会】認知症「タイプ別症例検討」②	2施設 3名
12月21日	多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	1施設 9名
1月21日	がんセミナー	1施設 1名
1月22日	臨床感染症セミナー2019	1施設 1名
2月7日	がんセミナー	2施設 3名
2月20日	<共催> 豊明肝臓病フォーラム(アツヴィ合同会社)	2施設 2名
2月22日	多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	3施設 3名

社員別	
医療法人大医会	39名
医療法人清水会	31名
南医療生活協同組合	11名
医療法人明和会	8名
医療法人順恩会	7名
医療法人財団善常会	7名
医療法人木南会	6名
医療法人利達会	5名
社会福祉法人 地域福祉コミュニティほほえみ	4名
公益財団法人 豊田地域医療センター	4名
医療法人 みどり訪問クリニック	4名
医療法人名翔会	4名
医療法人並木会	3名
社会福祉法人 あかいけ寿老会	3名
医療法人寿光会	1名
医療法人なるみ会	1名
社会福祉法人福田会	1名

17法人 139名

尾三会研修会	
医療法人清水会	18名
医療法人大医会	10名
医療法人利達会	7名
医療法人名翔会	6名
医療法人なるみ会	3名
社会福祉法人 地域福祉コミュニティほほえみ	3名
医療法人社団同仁会	3名
社会福祉法人 あかいけ寿老会	3名
医療法人順恩会	2名
医療法人愛整会	2名
医療法人木南会	2名
医療法人宝美会	2名
医療法人 みどり訪問クリニック	1名
医療法人コジマ会	1名
医療法人明和会	1名
医療法人財団善常会	1名

16法人 65名

共催の研修会	
南医療生活協同組合	10名
医療法人大医会	7名
医療法人明和会	9名
医療法人並木会	4名
医療法人十全会	4名
医療法人財団善常会	3名
公益財団法人 豊田地域医療センター	2名
社会福祉法人 あかいけ寿老会	2名
医療法人清水会	1名
医療法人順恩会	1名
医療法人社団福祉会	1名

11法人 44名

講師派遣

開催日	派遣先・講師/演習内容	参加人数
5月15日	社会福祉法人福田会・感染症(食中毒)	35名
5月22日	医療法人みどり訪問クリニック・緩和ケア	18名
6月19日	医療法人木南会・感染	66名
7月17日	医療法人みどり訪問クリニック・摂食嚥下	27名
7月17日	社会福祉法人福田会・褥瘡予防	30名
7月23日	医療法人木南会・人材育成、リーダーシップ	19名
7月31日	医療法人明和会・褥瘡患者の皮膚ケア	15名
8月21日	医療法人名翔会・心不全	28名
8月21日	社会福祉法人福田会・看取り	25名
10月9日	医療法人木南会・スキンケア、失禁ケア	60名
11月20日	医療法人明和会・褥瘡予防と治療	25名
11月20日	社会福祉法人福田会・感染症(インフルエンザ、ノロウイルス)	39名
12月18日	社会福祉法人福田会・摂食嚥下	28名
1月28日	医療法人美・救命救急看護	84名
1月30日	医療法人大医会・NST	66名
1月31日	医療法人明和会・SWOT	25名